

令和6年度「かごしまSDGsパートナーシップ推進会議」

# 株式会社FCR

SDGsの取り組みについて



代表取締役  
石神 和哉

令和6年8月8日



**\* Mission:FCRが社会(お客様)に対して「なすべきこと」**

— **期待と信頼に応える。**

**\* Vision:FCRが目指す「あるべき姿」**

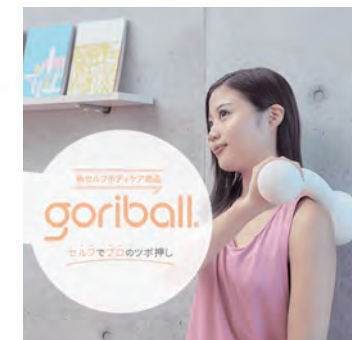
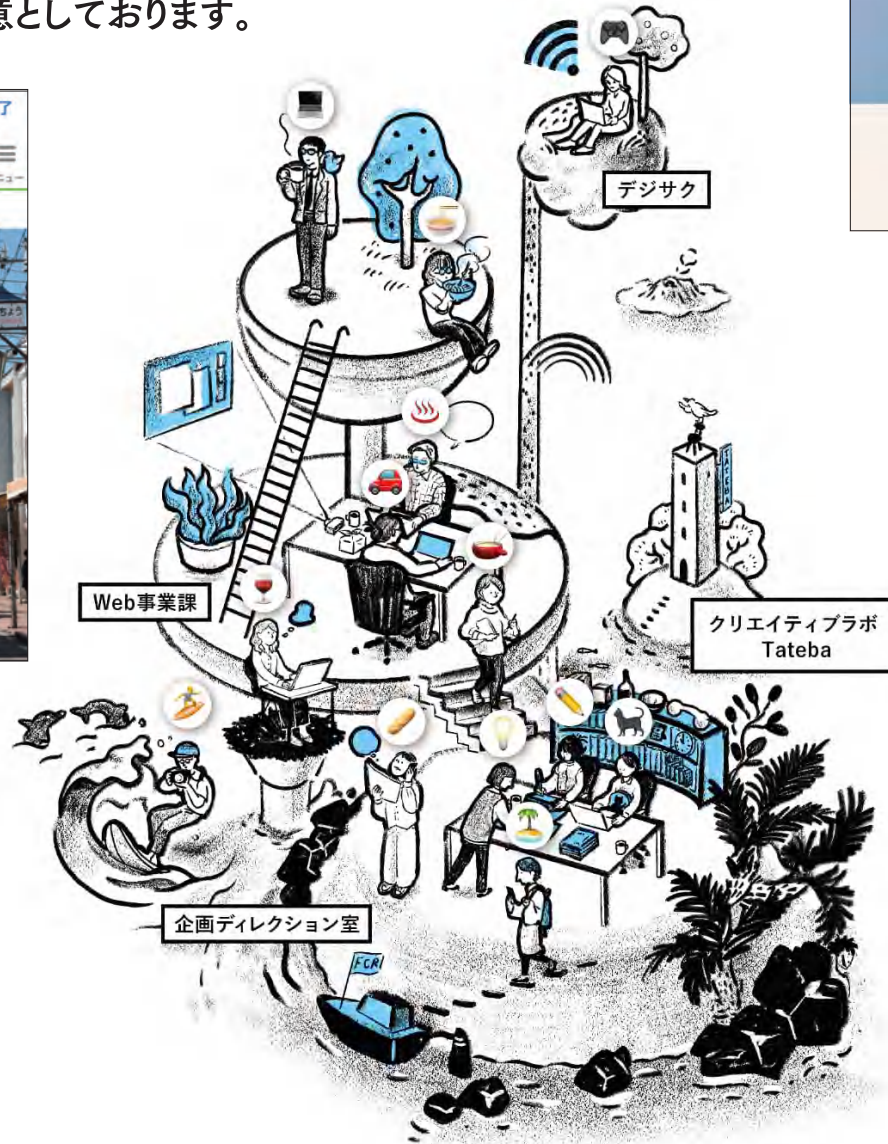
— **オーナーシップ(主体性)のある行動を。**

**\* Value:FCRが具体的に「やるべきこと」**

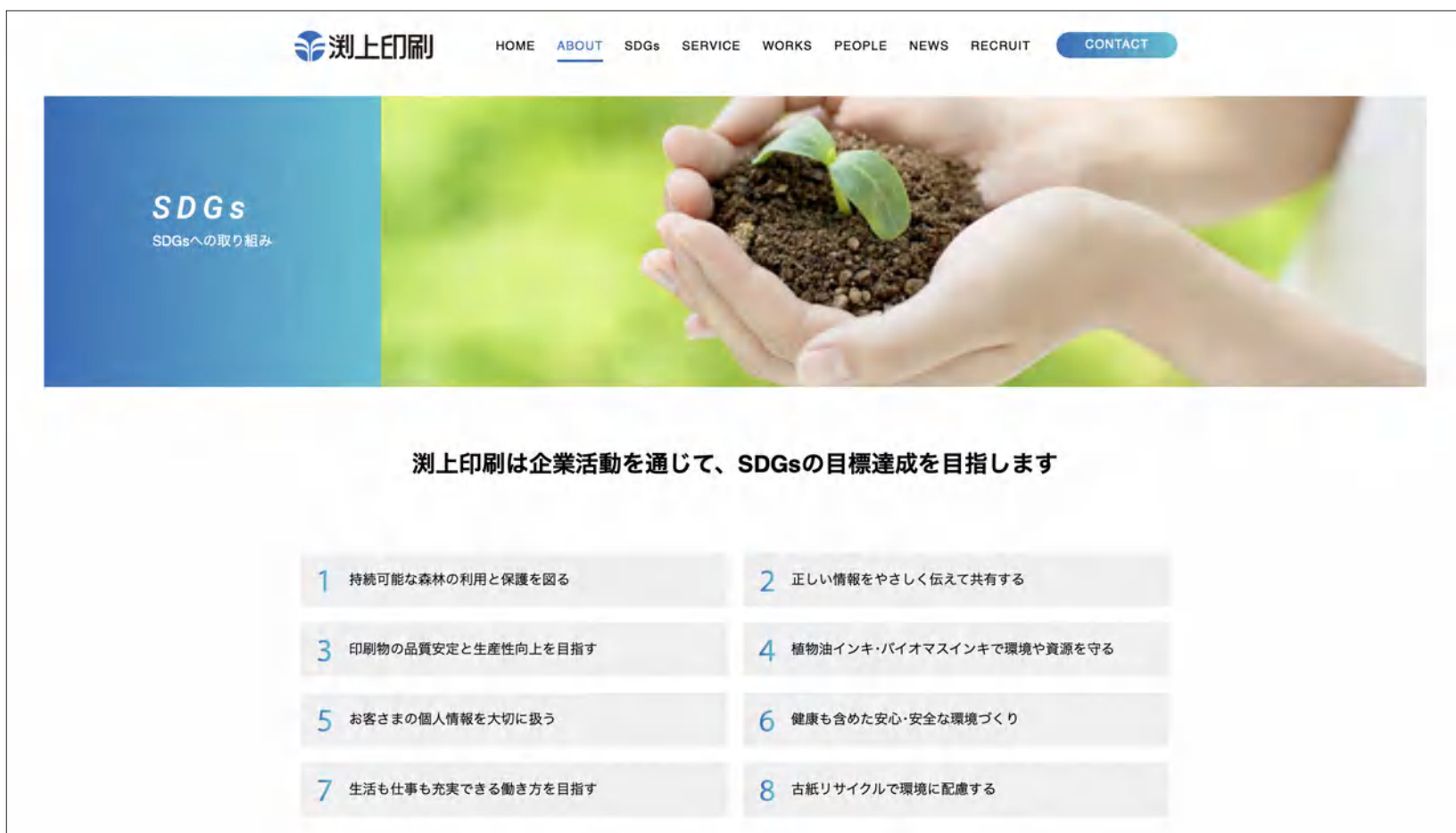
— **利益より無形資産(信用、知識、知恵、仲間etc..)を優先。**

# FCRってどんな会社？

鹿児島県内の印刷業界で最も歴史のある瀧上印刷から令和元年に分社化。FCRの語源は「Fuchigami Creative Room」の頭文字からきています。印刷という枠組みにおさまらない、WEB/SNS全般・印刷・企画ディレクション・スチールおよび動画撮影・商品ブランディングなどのクリエイティブ全般を得意としております。



### ③かごしまSDGsパートナーシップ加入のキッカケ



SDGsへの意識関心の高かった親会社に感化触発され、令和3年に弊社を含めたグループ全4社加入への模索を開始。同年加入。



## インターンシップや職場実習生の受け入れを積極的に。

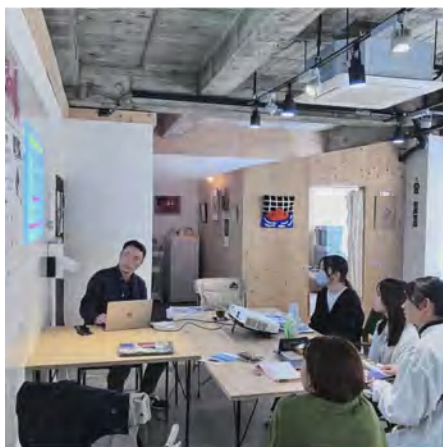
質の高い教育を  
みんなに



未来の働き手のキャリア形成に繋がる場を創出。業務提携しているスキルの高い外部クリエイターらにも協力いただき、共同で課題を考案したりも。

それらを経て新卒採用にもつなげています。採用後は同じように、社内だけではなく、社外クリエイターらと共同で新人研修を開催。

クリエイティブ業界で慢性的に不足しているディレクターの育成にも注力しています。



11 住み続けられる  
まちづくりを



# 鹿児島市「かごしまお試し移住プログラム」の受け入れ。

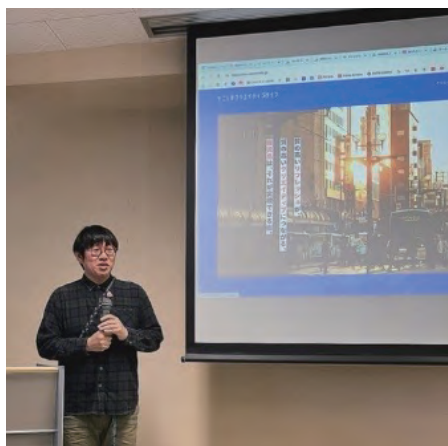
8 働きがいも  
経済成長も



鹿児島市への移住を考えているクリエイターを対象にしたプログラムになります。プログラムを広めるための東京でのトークイベントへ登壇させていただき、参加者が確定した後は、クリエイティブ産業の拠点施設「mark MEIZAN」でのリモートワークや、弊社での副業体験をしていただきました。

交流を通して、鹿児島市の仕事環境だけではなく、生活環境も体感いただけます。

同時に、地方のクリエイティビティの底上げや、人材不足解消の糸口にもつながっていきます。



11 住み続けられる  
まちづくりを

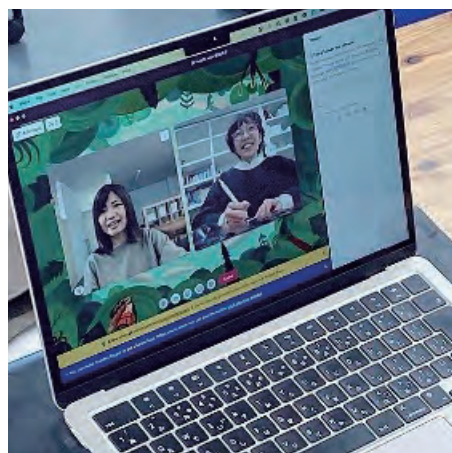


# 「在宅ワーク・コワーキングスペースの導入」 「ビジネスアプリの活用でDX化」。

8 働きがいも  
経済成長も



弊社では子供の急な体調不良で保育園からの呼び出しや、子供の看病をしないといけないがために、会社を一日休まざるを得ないスタッフが半数を占めています。そのため、コロナ前からエキスパートを中心に在宅ワークやコワーキング(ライカ、Tateba)を主としたワークスタイルを推進。隙間時間でも集中して仕事をする事ができるワークスタイルは結果的に何かと効率的です。



また、SlackやNotionといったビジネスアプリや、freee(会計・販売・労務管理)を導入しDX化。生産性の飛躍的向上だけでなく、チームビルディングを緩やかに強化しつつ社内外問わずチームを編成。デジタルを有効活用し、各スタッフが複数の案件を同時進行でこなすことができます。

とはいえ、毎週月曜日は新屋敷の固定オフィスへ全員出社とし、リアルコミュニケーションも大切にしています。

4 質の高い教育を  
みんなに



## シェアサイクルやシェアカーを活用。



13 気候変動に  
具体的な対策を



「環境保全」「交通利便性の向上」などの観点からスタッフの営業車を廃止。直接の打ち合わせや現場へ赴く必要がある取材撮影など、シーンに応じて利用しています。

在宅ワークやコワーキングスペースとの併用で、エネルギー効率化、通勤時間も削減。ワークライフバランスの向上へ。



## 次世代と育む小さなSDGs

### 子どもたちが安心して暮らせる社会へ

子どもたちの夏休み期間中に開催しているFCR親子でワークショップ。スタッフの特技やスキルを活かし、親子で一緒に感動を共有します。合間に仕事したり、みんなで宿題したりも。今はまだ小さな取組ですが、今後は社内だけでなく社外へも広がっていきます。



親子でボルダリング体験。



親子でデッサン教室(スタッフ)主催のスケッチ会へ。

**SDGsを親子で楽しみながら、気づき、学べる体験の場を増やしていきます!**

# 鹿児島の未来を担う子どもたちに地元企業で働く魅力を伝えています。



近年、教育現場では、子どもたちがしっかりとした職業観を身につけ、自分らしい生き方を実現できるよう、早期からの「キャリア教育」が進められています。こういった背景をふまえて、弊社では鹿児島市内を中心に一業種一社のお仕事を紹介する教材発行のサポートをしています。子どもたちと地元企業をつぐだけでなく、働く意義や目的、喜びなどを学んでもらえればと考えています。

A4 サイズ(210 × 297mm)  
 毎年5月発行予定 無償配布  
 鹿児島市内公立小学校79校  
 国会図書館、鹿児島市教育委員会へ配布

イラストなども多様し仕事内容をわかりやすく紹介。全ての漢字にはフリガナをつけて読みやすく



2号目の発行では鹿児島市立南方小学校にて贈呈式を開催

今後は中学生版も作成し掲載企業の出張授業など立体的なワークショップも開催します。

ご清聴ありがとうございました

